

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]

(令和8年1月解析分)

1 今月のトピックス

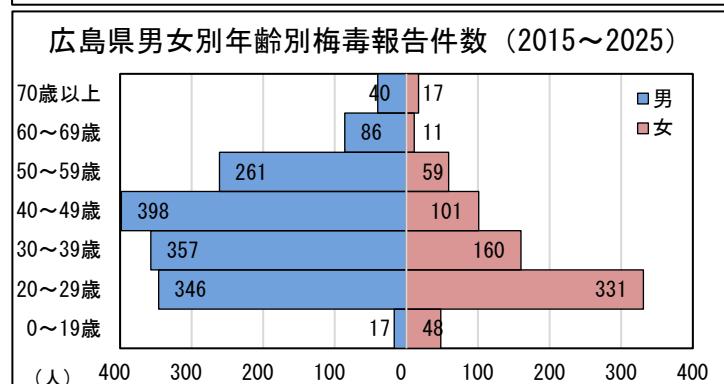
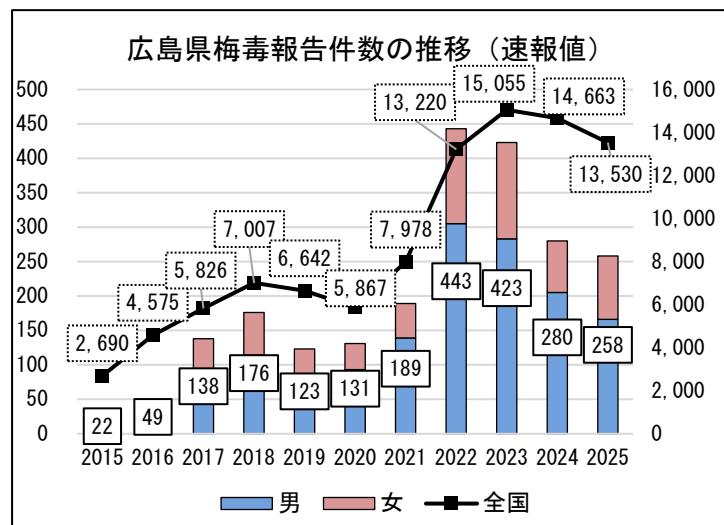
2025年梅毒報告件数（速報値） 発生件数は全国で13,530件 広島県は258件

2022年から梅毒の報告件数が全国的に急増し、2025年における全国の梅毒発生報告件数は13,530件（速報値）で、昨年から約1,000件減少していますが、依然として高い水準であり、感染の注意が必要です。

広島県における2025年の1年間の発生報告件数は258件（速報値）で、前年から22件減少しましたが、過去（1999年以来）、4番目に多い件数です。男性では、20歳代から50歳代で、女性では20歳代での報告が多い状況です。

梅毒は、早期に治療すれば完治しますが、放置して進行すると脳や心臓に合併症を引き起こすだけでなく、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）に感染しやすくなることが知られています。また、妊婦においては死産や出生児の神経や骨等に異常をきたす先天梅毒を起こす可能性のある疾患です。そのため、感染が疑われる場合には検査による早期発見・早期治療が重要です。

広島県では、毎月匿名・無料の梅毒検査とHIV検査を実施しています。感染が心配な方、気になる症状がある方は保健所へお電話ください。性感染症に関する相談にも対応しています。



梅毒の症状

【病原体】梅毒トレポネーマ（細菌）

【感染経路】感染部位と粘膜や皮膚の直接の接触（主に性的接触）

【予防方法】コンドームの使用（ただし、コンドームが覆わない部分の皮膚などで、感染の可能性あり）

【症状】感染からの経過時期に応じて症状が異なります（下表参照）。

感染後3週間	感染後3か月	感染後数年
<ul style="list-style-type: none"> 感染部位（陰部、口唇部、肛門等）のしこり 鼠径部のリンパ節腫脹 	<ul style="list-style-type: none"> 手掌や手背、下腿、前腕、背部などを中心に、無痛性の紅斑（バラ疹）が生じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 皮膚や粘膜、骨などにゴムのような腫瘍 心臓、血管、脳などの複数の臓器の病変

県保健所（支所）における梅毒検査（要予約、無料、匿名、即日）

【検査概要】

- 保健所で実施している検査はHIV検査と梅毒検査です。
- TP法（イムノクロマト法）を用いた血液検査で、採血後、約1時間程度で結果が判明します。

【検査を受ける時期】

- 正確な判定のためには、感染の可能性のあった日から3か月を経過している必要があります。

【予約方法等】

- 電話により予約できます。各保健所の電話番号は県ホームページをご覧ください。



広島県 梅毒検査

検索

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和7年12月分(令和7年12月1日～令和7年12月28日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号		疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	急性呼吸器感染症(ARI) ※2	28,648	76.19	-	➡	11	突発性発しん	35	0.15	0.16	➡
2	インフルエンザ ※3	12,500	33.24	0.00	↗	12	ヘルパンギーナ	7	0.03	0.20	
3	新型コロナウイルス感染症(covid-19) ※1	409	1.09	-	↙	13	流行性耳下腺炎	6	0.03	0.14	
4	RSウイルス感染症	201	0.88	0.00	↙	14	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.06	
5	咽頭結膜熱	94	0.41	0.42	↗	15	流行性角結膜炎	56	0.74	0.05	↙
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	565	2.48	1.13	➡	16	細菌性齶膜炎	0	0.00	0.82	
7	感染性胃腸炎	797	3.50	1.78	➡	17	無菌性齶膜炎	1	0.01	0.04	
8	水痘	53	0.23	4.14	↗	18	マイコプラズマ肺炎	91	1.14	0.05	↙
9	手足口病	30	0.13	0.17	↙	19	クラミジア肺炎 ※4	0	0.00	0.76	
10	伝染性紅斑	118	0.52	0.64	↙	20	感染性胃腸炎(コタウイルス)	0	0.00	0.00	

※1 R5年第19週(5/8～)から五類に変更。※2 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、医師が感染症を疑う外来症例に該当する患者数を計上(他の定点把握疾患として報告されている患者数(No.2～6及び12)を含む)※3 インフルエンザを除く※4 オウム病を除く

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和7年12月分(12月1日～12月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
21	性器クラミジア感染症	62	2.82	0.00	➡	25	メシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	96	4.80	0.89	↗
22	性器ヘルペスウイルス感染症	16	0.73	2.16	➡	26	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0.00	2.95	
23	尖圭コンジローマ	17	0.77	0.78	↙	27	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.11	
24	淋菌感染症	24	1.09	0.46	➡	※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。					

急増減疾患！！(定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患 なし

○急減疾患 なし

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	➡		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象20疾患、月報対象7疾患)について、県内155の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1、2、3	1～13	14、15	21～24	16～20、25～27	
定点数	37	57	19	22	20	155

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	32	結核(32)〔西部保健所(6)、西部東保健所(2)、東部保健所(6)、北部保健所(1)、広島市保健所(15)、福山市保健所(2)〕
三類	6	腸管出血性大腸菌感染症(6)〔広島市保健所(1)、福山市保健所(5)〕
四類	9	A型肝炎(1)〔広島市保健所(1)〕 マラリア(1)〔西部東保健所(1)〕 レジオネラ症(7)〔西部東保健所(2)、広島市保健所(1)、呉市保健所(1)、福山市保健所(3)〕
五類	86	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(1)〔西部東保健所(1)〕 急性脳炎(1)〔北部保健所(1)〕 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(2)〔広島市保健所(2)〕 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)(2)〔西部保健所(1)、広島市保健所(1)〕 侵襲性肺炎球菌感染症(8)〔西部保健所(1)、東部保健所(2)、広島市保健所(3)、呉市保健所(1)、福山市保健所(1)〕 水痘(入院例)(2)〔広島市保健所(2)〕 梅毒(18)〔西部保健所(2)、西部東保健所(1)、広島市保健所(10)、福山市保健所(5)〕 百日咳(51)〔西部保健所(2)、西部東保健所(5)、東部保健所(3)、広島市保健所(14)、呉市保健所(2)、福山市保健所(25)〕 麻しん(1)〔西部保健所(1)〕

一類・二類・三類・四類・五類(全数把握対象)感染症発生状況 (広島県)

2025年12月31日 現在

分類	感染症名	発生件数												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
二類	結核	27	32	25	22	29	26	29	31	24	29	24	32	330
	小計	27	32	25	22	29	26	29	31	24	29	24	32	330
三類	コレラ	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	細菌性赤痢	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	腸管出血性大腸菌感染症	3	4	4	2	9	19	19	21	8	12	6	6	113
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
四類	小計	3	7	5	2	9	19	19	21	8	12	6	6	117
	E型肝炎	1	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	5
	A型肝炎	0	1	2	1	2	0	0	1	1	0	0	1	9
	エムポックス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	3
	デング熱	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	0	1	0	4	1	0	0	0	0	6
	日本紅斑熱	0	0	0	0	18	10	3	7	7	17	2	0	64
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	レジオネラ症	6	2	5	3	7	17	4	4	5	9	6	7	75
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	8	4	9	6	28	27	11	15	15	27	9	9	168
五類全数	アメーバ赤痢	0	1	2	0	0	1	0	0	1	1	0	0	6
	ウイルス性肝炎(A型及びE型を除く)	0	0	0	1	4	1	1	0	0	0	0	0	7
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	5	5	3	1	0	1	0	2	0	2	1	1	21
	急性弛緩性麻痺	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	急性脳炎	6	0	2	2	0	1	3	0	0	2	1	1	18
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0	5
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6	1	4	0	4	4	1	0	3	2	1	2	28
	後天性免疫不全症候群	0	2	1	1	0	2	0	1	2	2	0	2	13
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	侵襲性インフルエンザ感染症	3	2	1	1	1	4	0	0	0	0	0	0	12
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	8	4	6	7	6	2	4	0	0	2	6	8	53
	水痘(入院例)	0	1	0	1	1	0	1	0	0	1	1	2	8
	破傷風	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	梅毒	22	17	17	20	27	18	22	25	32	19	20	18	257
	パンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	百日咳	15	11	35	204	352	552	683	560	351	221	86	51	3,121
	風しん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	播種性クリプトコックス症	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	3
	麻しん	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	3
	小計	68	45	73	239	397	586	719	591	389	253	116	86	3,562
	合計	106	88	112	269	463	658	778	658	436	321	155	133	4,177

※ 一類～三類感染症は、疑似症患者及び無症状病原体保有者を含む。

【類別感染症名】

一類 :	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱
二類 :	急性灰白髄炎(ポリオ)、結核、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ(H5N1)、鳥インフルエンザ(H7N9)
三類 :	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス
四類 :	E型肝炎、ウェストナイル熱、A型肝炎、エキノコックス症、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キヤサヌル森林病、Q熱、狂犬病、コクシジオイデス症、エムボックス(サル痘)、ジカウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、つつが虫病、デング熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9)を除く)、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、マラリア、野兎病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、レジオネラ症、レプトスピラ症、ロッキー山紅斑熱
五類全数:	アメーバ赤痢、ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症、急性脳炎、クリプトスピリジウム症、クロイツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、ジアルジア症、侵襲性インフルエンザ感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症、水痘(入院例に限る)、先天性風しん症候群、梅毒、播種性クリプトコックス症、破傷風、パンコマイシン耐性黄色ドウ球菌感染症、パンコマイシン耐性腸球菌感染症、風しん、麻しん、薬剤耐性アシネットバクター感染症、百日咳、急性弛緩性麻痺

病原体（ウイルス）検出状況（県立総合技術研究所保健環境センター検査分）

検体採取期間：令和7年12月1日～令和8年1月23日

資料作成：令和8年1月26日

県立総合技術研究所 保健環境センター 保健研究部

1 県内医療機関からの受付検体数

患者数	検体数	陽性検体数	陰性検体数	検査中
167	179	115	41	23

2 四類感染症からの検出状況

検出無し。

3 五類感染症 急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスの検出状況（別紙）

4 五類感染症からの検出状況（急性呼吸器感染症(ARI)として提出された検体の中に含まれていた患者の検査結果の再掲を含む）

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
麻しん（成人）	麻疹ウイルス B3型 ※	1	3	血液, 咽頭, 尿	R7. 12月	30代	西部(広島)
新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	8	8	鼻咽頭, 咽頭	R7. 12月～R8. 1月	0～70	西部(広島), 東部, 東部(福山)
インフルエンザ	AH1pdm09型インフルエンザウイルス	1	1	鼻咽頭, 咽頭	R7. 12月	37	東部
	AH3型インフルエンザウイルス	44	44	鼻咽頭, 咽頭	R7. 12月～R8. 1月	1～79	西部(広島), 西部東, 東部, 東部(福山)
	AH3型インフルエンザウイルス+ライノウイルス	3	3	鼻咽頭	R7. 12月	2～9	西部東, 東部(福山)
	AH3型インフルエンザウイルス+ライノウイルス +アデノウイルスNT	1	1	鼻咽頭	R7. 12月	1	東部(福山)
	AH3型インフルエンザウイルス+ライノ/エンテロウイルス +アデノウイルスNT	1	1	鼻咽頭	R7. 12月	3	東部(福山)
	AH3型インフルエンザウイルス+ヒトコロナウイルスNL63 +パラインフルエンザウイルス4型	1	1	鼻咽頭	R8. 1月	2	西部東
	AH3型インフルエンザウイルス +アデノウイルスNT	1	1	鼻咽頭	R7. 12月	2	東部(福山)
	B型(ピクトリア系統)インフルエンザウイルス	11	11	鼻咽頭, 咽頭	R7. 12月～R8. 1月	4～40	西部東, 東部, 東部(福山)
	B型(ピクトリア系統)インフルエンザウイルス +パラインフルエンザウイルス1型+新型コロナウイルス	1	1	鼻咽頭	R8. 1月	10	西部東
	パラインフルエンザウイルス4型+ライノウイルス	1	1	鼻咽頭	R7. 12月	5	東部(福山)
RSウイルス感染症	RSウイルス NT	3	3	鼻咽頭	R8. 1月	0, 1	西部東
	RSウイルス B型	1	1	鼻咽頭	R7. 12月	0	西部東
	RSウイルス B型+ライノ/エンテロウイルス	1	1	鼻咽頭	R8. 1月	1	西部東
咽頭結膜熱	アデノウイルスNT	1	1	鼻咽頭	R8. 1月	2	西部東

※ベトナムに渡航歴のある患者から検出されました。

◆年間を通じた県内のウイルス検出情報（ひろしまCDCホームページ内 月別・疾患別ウイルス検出情報）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/ari.html>

◆広島県内の急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスの流行状況（ひろしまCDCホームページ内）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/ari.html>

6 保健所別検査依頼受付状況 (検体採取期間: 令和7年12月1日～令和8年1月23日)

保健所地区	検体数	疾患名 (検体数)
西部	0	
西部(広島)	47	麻しん(成人)疑い(12), 急性呼吸器感染症(ARI)(35)
西部(呉)	0	
西部東	44	急性呼吸器感染症(ARI)(43), インフルエンザ(1)
東部	52	麻しん(成人)疑い(3), 急性脳炎・脳症(3), 急性呼吸器感染症(ARI)(35), 新型コロナウイルス感染症(8), インフルエンザ(3)
東部(福山)	35	急性呼吸器感染症(ARI)(35), インフルエンザ(1), 上気道炎(1)
北部	0	
福山市	0	
呉市	1	ダニ類媒介感染症疑い(1)

急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスで検出されたウイルス（令和7年12月上旬～令和8年1月中旬）

報告週	第49週	第50週	第51週	第52週	第1週	第2週	第3週	計
	12/1～12/7	12/8～12/14	12/15～12/21	12/22～12/28	12/29～1/4	1/5～1/11	1/12～1/18	
検査患者数	26	23	20	17	0	24	24	134
陽性患者数	24	16	15	12	0	18	17	102
AH1pdm09型インフルエンザウイルス								0
AH3型インフルエンザウイルス	15	9	11	4		9	5	53
B型インフルエンザウイルス(ピクトリア系統)	1	1	1	3		2	4	12
新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	1						3	4
RSウイルス NT						2	4	6
RSウイルス A型								0
RSウイルス B型	1	1	1	1				4
パラインフルエンザウイルス1型	3	2		2			1	8
パラインフルエンザウイルス2型	1						1	2
パラインフルエンザウイルス3型								0
パラインフルエンザウイルス4型			1			1		2
ライノウイルス/エンテロウイルス	1		1				2	4
ライノウイルス	6	3	1	1		2		13
エンテロウイルスNT								0
メタニューモウイルス								0
アデノウイルスNT	1		2	2		2		7
ヒトコロナウイルスHKU1								0
ヒトコロナウイルスNL63						2		2
ヒトコロナウイルス229E								0
ヒトコロナウイルスOC43		1				1		2

※ 1人の患者から複数のウイルスが検出された症例が複数あります。